

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位				
I-1- (1)-① 仕事と子育ての両 立支援	1	放課後児童クラブの管理運営	子育て支援課	市民ニーズに応えられる放課後児童クラブの運営内容を確保するため、運営団体に対する研修会の実施、開設時間の標準化や延長の推進等により、運営体制の充実を図る。また、障害のある児童や高学年児童を含め利用者が増加する中で、児童への対応を充実するため、適切な指導員数を配置するとともに、研修の充実、指導員相互の交流や情報交換、障害のある児童などの対応を支援するための臨床心理士等の巡回派遣を行い、指導員の資質向上を図る。	放課後児童クラブに対する満足度（開所日、開所時間） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H22～26年度】」掲載内容 78.8% (H20年度) ※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値 目標 平成25年度(80.0%)比向上 実績 76.2% 達成率 95.3%					平成20年度(78.8%)比向上 ※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）	継続	2,052,712	2,273,638	増額	46,775	課長 0.35人	順調	指導員の資質向上を図るため、研修の充実や、臨床心理士や放課後児童クラブアドバイザー（小学校長OBの嘱託職員）による訪問指導に引き続き取り組む。 また、利用者ニーズに対応するため、開設時間については、「小1の壁」解消に向けて、19時以降まで開所するクラブが増加するよう取り組んでいく。	順調	放課後児童クラブの施設整備や利用内容の充実など、運営基盤の強化を図る。 指導員の研修の実施や、臨床心理士や放課後児童クラブアドバイザーの派遣、開所時間の延長など放課後児童クラブの運営体制の充実を図るとともに、クラブの活動内容の充実を目指して、学校や地域との連携を図り、魅力あるクラブの運営を促進する。 また、保育所では、一部の地区で、年度途中から待機児童が生じていることから、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、入所定員の拡大など計画的に教育・保育を提供することで、平成29年度末までを目標に、年間を通じた待機児童の解消を図る。 教育・保育施設の利用状況や利用者の希望とともに、幼稚園、保育所事業者の意向などを踏まえ、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園への移行支援・普及に努める。	
		放課後児童クラブ待機児童数 ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容 0人 (H25年度) 目標 0人 実績 0人 達成率 100%	0人	0人	0人	0人	0人 (H31年度) ※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」での成果指標（目標）					係長 1.35人									
		放課後児童クラブに対する満足度（開所日、開所時間） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容 75.4% (H25年度) ※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」策定時のニーズ調査による数値 目標 平成26年度(76.2%)比向上 実績 73.4% 達成率 96.3%		平成26年度(76.2%)比向上	平成27年度(73.4%)比向上	平成28年度比向上	平成25年度(75.4%)比向上 ※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」での成果指標（目標）					職員 3.90人									
2	保育所運営事業	保育課	仕事と子育ての両立支援を推進するため、保育を必要とする子どもは誰でも保育所に入所でき、多様なニーズに応えながら、子どもの健やかな育成を支援する保育サービスの実現を図る。	保育所待機児童数（4月） 0人 (H25年度) 目標 0人 実績 0人 達成率 100%	0人	0人	0人	0人	0人 (H30-31年度)	継続	17,167,464	18,071,929	維持	5,800	課長 0.20人	順調	一部地区では、年度途中から待機児童が生じており、更なる入所定員の拡大に向けて、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育所の整備を行う。	順調			
				保育所待機児童数（10月） 220人 (H25年度) 目標 0人 実績 246人 達成率 —%	0人	139人	0人	0人 (H30-31年度)	職員 0.20人												
3	幼稚園・認定こども園運営事業	幼稚園・こども園課	私立幼稚園（新制度対象）や認定こども園の運営費を助成する。	保育所待機児童数（10月） 220人 (H25年度) 目標 0人 実績 139人 達成率 —%	0人	0人	0人	0人	0人 (H30-31年度)	拡大	719,227	1,684,037	増額	5,400	課長 0.10人	順調	新制度の幼稚園及び認定こども園への移行が増えており、今後も、新制度に移行する私立幼稚園や認定こども園に運営費を助成する。	順調			
				幼稚園に対する満足度（施設・環境） ※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」策定時のニーズ調査による数値 85.5% (H25年度) 目標 平成26年度(68.5%)比向上 実績 86.9% 達成率 126.9%	0人	139人	0人	0人 (H30-31年度)	職員 0.30人												

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数	
							目標	実績	達成率	目標													実績
I-1- (1)-② 年間を通じた待機児童解消策の推進など保育の充実	4	地域型保育給付 (小規模保育)	保育課	年間を通じた待機児童の解消を図るため、年度途中の入所が困難な3歳未満児の保育ニーズに対応するため、小規模保育事業を実施する幼稚園、保育所等に対し、運営費を助成する。	保育所待機児童数 (4月)	0人 (H25年度)	0人	0人	0人	0人	0人 (H30・31年度)	継続	1,121,105	1,559,893	増額	9,300	課長 0.20人	係長 0.40人	職員 0.40人	順調	「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、小規模保育事業を推進し、利用定員の拡大を図る。	順調	保護者の保育ニーズに対応するため、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、計画的に教育・保育を提供することで、平成29年度末までを目標に、年間を通じた待機児童の解消を図る。保育士等の人材確保に取り組むとともに、教育・保育の質の向上を図るため、体系的な研修等を通じて幼稚園教諭、保育士等の専門性の向上に取り組む。 また、子どもの生活リズムへの十分な配慮や、家庭における子育てと仕事の調和に配慮しながら、幼稚園における預かり保育や保育所における延長保育、休日保育など、多様なニーズに対応した保育サービスのさらなる充実を図る。
					保育所待機児童数 (10月)	220人 (H25年度)	246人	139人	0人	0人	0人 (H30・31年度)												
5	一時預かり事業		幼稚園・こども園課	「子ども・子育て支援新制度」により実施する一時預かり事業において、保護者のニーズに応じて教育時間の終了後等に預かり保育を実施する私立幼稚園を支援する。	幼稚園に対する満足度（教育・保育の内容）	91.3% (H25年度)	▲	▲	▲	▲	▲	拡大	143,400	150,000	維持	4,650	課長 0.10人	係長 0.20人	職員 0.20人	順調	保護者のニーズに対応するため、「北九州市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を実施する園の増加に取り組む。		
					※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	▲	89.6%	▲	▲	▲	▲											▲	▲
6	特別保育事業補助		保育課	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、保育所の保育時間を午後7時もしくは8時まで延長する「延長保育」の充実を図る。また、保護者のパート就労や育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育する「一時保育」の充実を図る。さらに、保育所の通常保育に加え、延長保育や一時保育においても、集団保育の可能な障害のある児童の受け入れを行う「障害児保育」の充実を図る。	保育所に対する満足度（保育の内容）	90.4% (H20年度)	▲	▲	▲	▲	▲	継続	730,384	748,531	維持	3,650	課長 0.10人	係長 0.10人	職員 0.20人	順調	子どもの生活リズムを整えることや、親子で過ごす時間を確保することなど、家庭における子育てと仕事の調和に十分配慮しながら、保護者の多様なニーズに対応した、預かり保育や延長保育などの特別保育について、さらなる充実を図る。		
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	▲	79.1%	▲	▲	▲	▲											▲	▲
				保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭など、やむをえない事由により家庭での保育が困難な病期中、病気回復期にある児童を医療機関併設型の施設において保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	保育所に対する満足度（保育の内容）	90.4% (H20年度)	▲	▲	▲	▲	▲	継続	137,690	134,585	維持	2,900	課長 0.10人	係長 0.10人	職員 0.10人	大変順調	平成29年度は、ニーズの高い地域において新設を予定している。「病児保育利用のてびき」やポスターを作成し、関係各施設で配布・掲示を行うとともに情報誌に利用案内を掲載することで、効果的なPRに努める。		
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	▲	79.1%	▲	▲	▲	▲											▲	▲
				保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭など、やむをえない事由により家庭での保育が困難な病期中、病気回復期にある児童を医療機関併設型の施設において保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	保育所に対する満足度（教育・保育の内容）	89.6% (H25年度)	▲	▲	▲	▲	▲	継続	137,690	134,585	維持	2,900	課長 0.10人	係長 0.10人	職員 0.10人	大変順調	平成29年度は、ニーズの高い地域において新設を予定している。「病児保育利用のてびき」やポスターを作成し、関係各施設で配布・掲示を行うとともに情報誌に利用案内を掲載することで、効果的なPRに努める。		
					※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	▲	89.3%	▲	▲	▲	▲											▲	▲

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
8		保育サービスコンシェルジュ事業	保育課	<p>保育所、幼稚園や地域の子育て支援の事業等の利用について、情報の収集と提供を行うとともに、利用にあたり、子どもや保護者からの相談に応じるため、各区役所及び「ウーマンワークカフェ」に1名ずつ保育サービスコンシェルジュを配置する。</p>	保育所待機児童数 (4月)	0人 (H25年度)	目標	0人	0人	0人	0人	0人 (H30・31年度)	継続	23,266	23,856	維持	2,900	課長	0.10人	大変順調	<p>4月以降に保育所等の利用申込が増加することにもない、年度途中に待機児童が発生している状況である。保育サービスコンシェルジュによるそれぞれの世帯の状況やニーズに合った保育サービスの提供やきめ細やかな対応は重要であり、平成29年度も引き続き事業を行う。</p>		
						実績	0人	0人										係長	0.10人				
	9	保育士等の確保	幼稚園・こども園・保育課	<p>保育士就職支援事業（保育士資格取得見込の学生等を対象とした就職説明会や保育士の資格もしくは看護師等の免許を持っていて、現在、保育士の職に就いていない人（潜在保育士）を対象とした研修を実施）、保育士・保育所支援センター事業等（保育士の就職支援や相談等による離職防止）、幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得支援等事業（幼稚園教諭の保育士資格取得支援や幼稚園への就職支援等）により、待機児童の解消を図るため、保育士等の人材確保に取り組む。</p>	保育所待機児童数 (10月)	220人 (H25年度)	目標	0人	0人	0人	0人	0人 (H30・31年度)	継続	11,447	11,317	維持	15,100	課長	0.40人	順調	<p>関係機関（保育士養成施設、保育所連盟、ハローワーク、他自治体保育士・保育所支援センター等）と連携を図り、就職支援の充実を図る。保育士等資格活用研修の内容を充実させると共に受講者の拡大を図るため、PR活動を強化する。</p>		
						実績	246人	139人										係長	0.60人				
							達成率	—%	—%								職員	0.60人					

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
I-1- (1)-③ 母子が健康に生活できる環境づくり	10	母子健康診査	子育て支援課	妊婦や乳幼児の疾病または異常の発見および防止を図り、健康を保持増進させるため、妊婦、乳幼児の定期的な健診の機会を提供する。 （妊婦健康診査、B型肝炎母子感染防止事業、先天性代謝異常等検査、乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査）	妊婦11週までの妊娠届出者の割合 ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	目標	100 %					平成20年度（58.8%）比増加	継続	988,300	975,600	維持	3,615	課長	0.01 人	順調	母子の健やかな発育を支援し、経済的な負担を軽減するため、妊婦や乳幼児に対する健診等の公費助成やその周知、健診結果に応じた支援を継続して行う。	順調	母親学級や面接での母子健康手帳の交付による必要な知識の普及や相談体制の充実、情報提供などにより、母体の心身の変化が著しい妊娠・出産期における不安の軽減と、健康管理を推進する。 乳幼児健診の実施や関係機関との連携などにより、発達の気になる子どもの早期発見および早期支援体制の強化を図る。 10代の妊婦や産後うつ、乳幼児健診未受診などで養育困難な状況にある家庭に対する乳児家庭の全戸訪問や関係機関と連携した地域での見守り体制の強化などにより、継続した支援を行う。 平成28年10月に制度改正を行い、支援を拡充した子ども医療費支給制度については、円滑に制度を実施する。 妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援を強化するため、「妊娠・出産・養育にかかる相談支援事業」を継続実施する。
						実績	58.8 %	94.2 %				※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）											
目標	93.4 %		平成26年度（94.2%）比増加	平成27年度（93.8%）比増加		平成28年度比増加	平成25年度（93.4%）比増加	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）	達成率	99.6 %													
	11	子ども医療費支給制度	子育て支援課	乳幼児等の健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療にかかる医療費の自己負担額を助成する。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	目標	53.9 %	平成25年度（30.5%）比減少				平成20年度（53.9%）比減少	継続	2,818,400	3,154,000	増額	12,300	課長	0.20 人	順調	平成28年10月に通院医療費の助成対象を、「小学校6年生まで」拡充する等の見直しを行った。 引き続き、当制度を実施する。		
						実績	25.6 %	25.6 %				※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）										達成率	— %
目標	64.3 %		平成25年度（31.6%）比減少				平成20年度（64.3%）比減少	※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）	達成率	— %													
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	目標	64.3 %	平成25年度（31.6%）比減少				平成20年度（64.3%）比減少	継続	2,818,400	3,154,000	増額	12,300	係長	0.40 人	順調	平成28年10月に通院医療費の助成対象を、「小学校6年生まで」拡充する等の見直しを行った。 引き続き、当制度を実施する。		
						実績	30.2 %	23.9 %				※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）										達成率	102.3 %
目標	44.7 %		平成26年度（25.6%）比減少	平成27年度（23.9%）比減少		平成28年度比減少	平成25年度（44.7%）比減少	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）	達成率	101.1 %													
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」掲載内容	目標	51.7 %	平成26年度（30.2%）比減少	平成27年度（29.4%）比減少	平成28年度比減少	平成25年度（51.7%）比減少	継続	2,818,400	3,154,000	増額	12,300	職員	0.80 人	順調	平成28年10月に通院医療費の助成対象を、「小学校6年生まで」拡充する等の見直しを行った。 引き続き、当制度を実施する。			
						実績	29.4 %	29.4 %													※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）	達成率	101.1 %
目標	51.7 %		平成26年度（30.2%）比減少	平成27年度（29.4%）比減少		平成28年度比減少	平成25年度（51.7%）比減少	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）	達成率	101.1 %													

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
12	すくすく子育て 支援事業	子育て支援課	子育て支援課	母子健康手帳の交付、妊産婦乳幼児なんでも相談、母親学級、両親学級、育児学級等の母子保健教室、乳幼児発達相談指導「わいわい子育て相談」、乳幼児健診未受診者フォロー事業（児童虐待予防事業）、その他母子保健に関する事業を実施する。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者） ※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値 ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	53.9% (H20年度)	目標	平成25年度 (30.5%)比 減少				平成20年度 (53.9%)比 減少	継続	25,211	23,968	維持	6,150	課長	0.10	順調	安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくりを行うため、母親学級や妊産婦・乳幼児なんでも相談等を継続して実施する。また、あらゆる機会を通じて事業の周知を図り、利用を促進する。	
						実績	25.6%					※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）						係長	0.20			
						達成率	—%											職員	0.40			
13	のびのび赤ちゃん訪問事業	子育て支援課	子育て支援課	子育ての孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問することで、子育て情報の提供を行うとともに、さまざまな不安や悩みを聞き、支援が必要な家庭に対して適切な指導や支援、サービス提供に結びつける。また、うつ状態等を早期に把握し、きめ細かに支援するため、全産婦に産後うつを早期に発見するための質問票を用いて、支援する。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者） ※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値 ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	53.9% (H20年度)	目標	平成25年度 (30.5%)比 減少				平成20年度 (53.9%)比 減少	継続	49,932	49,023	維持	4,115	課長	0.01	順調	子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、引き続き関係機関と連携し、事業の推進を図る。	
						実績	25.6%					※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）						係長	0.10			
						達成率	—%											職員	0.40			
14	妊娠・出産・養育にかかる相談支援事業	子育て支援課	子育て支援課	区役所の「健康相談コーナー」及び「子ども家庭相談コーナー」を子育て世代包括支援センターと位置づけ、妊娠期から子育て期までワンストップで支援する機能を強化する。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者） ※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値 ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～31年度）」掲載内容	44.7% (H25年度)	目標				平成28年度 比減少	平成25年度 (44.7%) 比減少	—	6,500	7,500	増額	990	課長	0.01	—	妊産婦の育児不安を軽減するため、平成28年8月から事業を開始した養育支援が必要な家庭へのヘルパー派遣を引き続き実施する。今後、思いがけない（望まない）妊娠等に関する電話相談の設置について検討し、妊産婦等に対する支援の充実を図る。	
						実績						※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）						係長	0.05			
						達成率												職員	0.05			

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位				
I-1-(1)-④ 子育ての不安や悩みを軽減する環境づくり	15	子育てに関する情報提供の充実・PR	総務企画課	子育て中の人が、子どもの成長に合わせた情報をタイムリーかつ手軽に入手できるよう、情報誌の内容や、情報提供方法の充実を図り、必要とする市民に子育ての情報を的確に届ける。また、本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データを盛り込んだ「子ども家庭レポート」を発行し、市民や地域の担い手に周知することで、地域全体で子育てを支援する環境づくりの一助とする。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度) ※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	目標 平成25年度 (30.5%)比 減少	実績 25.6%	達成率 —%		平成20年度 (53.9%)比 減少	継続	4,266	4,266	維持	6,150	課長	0.10人	順調	市民センターや、子育て支援団体、育児サークル等とのネットワーク化を図るなど、身近な地域における子育てを支えるネットワークづくりを行うことで、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進める。 子育てに悩みや不安を持つ保護者に対しきめ細かく対応するため、親子ふれあいルームのスタッフや子ども・家庭相談コーナーの相談員に対し、研修等を実施し、相談員等の資質の向上を図るなど、子育てに悩みや不安を持つ保護者が、分かりやすく利用しやすい相談体制を整備する。 子育て中の人が知りたい情報をタイムリーに手軽に入手できるよう、情報誌「こそだて情報」やホームページ「子育てマップ北九州」を活用した情報提供の継続実施に努める。	
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	64.3% (H20年度) ※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	目標 平成25年度 (31.6%)比 減少	実績 30.2%	達成率 —%		平成20年度 (64.3%)比 減少										
					子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	—	目標 平成25年度 (57.9%)比 増加	実績 59.9%	達成率 103.5%		—										
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.7% (H25年度) ※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	目標 平成26年度 (25.6%)比 減少	実績 23.9%	達成率 102.3%	平成27年度 (23.9%)比 減少	平成28年度 比減少										平成25年度 (44.7%)比 減少
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	51.7% (H25年度) ※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	目標 平成26年度 (30.2%)比 減少	実績 29.4%	達成率 101.1%	平成27年度 (29.4%)比 減少	平成28年度 比減少										平成25年度 (51.7%)比 減少
					子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	—	目標 平成25年度 (57.9%)比 増加	実績 59.9%	達成率 103.5%		—										
	16	親子ふれあいルーム運営事業	子育て支援課	乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減するため、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができるスペースを既存の公共施設を活用しながら、区役所や児童館などで運営する。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度) ※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	目標 平成25年度 (30.5%)比 減少	実績 25.6%	達成率 —%		平成20年度 (53.9%)比 減少	継続	33,655	36,239	増額	7,275	係長	0.35人	順調	引き続き、ニーズにあった研修を実施することで、運営スタッフの質の向上を図るとともに、連絡会議を開催し情報交換を行うことで、各ルーム間の連携や活動の充実を目指す。また、市民センターをはじめ、子育て支援団体、育児サークル等とのネットワーク化を図るなど、地域との連携の促進に取り組む。	
					子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.3% (H25年度) ※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	目標 平成26年度 (51.3%)比 増加	実績 49.0%	達成率 95.5%	平成27年度 (49.0%)比 増加	平成28年度 比増加										平成25年度 (44.3%)比 増加
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.7% (H25年度) ※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	目標 平成26年度 (25.6%)比 減少	実績 23.9%	達成率 102.3%	平成27年度 (23.9%)比 減少	平成28年度 比減少										平成25年度 (44.7%)比 減少
					子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	—	目標 平成25年度 (57.9%)比 増加	実績 59.9%	達成率 103.5%		—										
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度) ※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	目標 平成25年度 (30.5%)比 減少	実績 25.6%	達成率 —%		平成20年度 (53.9%)比 減少										
					子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	—	目標 平成25年度 (57.9%)比 増加	実績 59.9%	達成率 103.5%		—										

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）																																																		
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数																																																	
17	子ども・家庭相談コーナー運営事業	子育て支援課		各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談をひとつの窓口で受け、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげる。	子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度)	目標 平成25年度 (30.5%)比 減少					平成20年度 (53.9%)比 減少	継続	89,002	90,350	維持	6,075	課長	0.05	人	順調	相談員を対象に年間を通じて計画的に行っている初任者研修、主務者研修、弁護士会との合同研修等に加え、子ども・家庭相談コーナーのニーズに応じた研修を新たに行うことにより、相談員の資質の向上を図り、あらゆる相談にきめ細かく対応する。																																																	
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	実績 25.6%				※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）																																																												
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	64.3% (H20年度)	目標 平成25年度 (31.6%)比 減少				平成20年度 (64.3%)比 減少	継続											89,002	90,350	維持	6,075	係長	0.10	人	順調	相談員を対象に年間を通じて計画的に行っている初任者研修、主務者研修、弁護士会との合同研修等に加え、子ども・家庭相談コーナーのニーズに応じた研修を新たに行うことにより、相談員の資質の向上を図り、あらゆる相談にきめ細かく対応する。																																								
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	実績 30.2%				※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）																																																												
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.7% (H25年度)	目標 平成26年度 (25.6%)比 減少		平成27年度 (23.9%) 比減少	平成28年度 比減少	平成25年度 (44.7%)比 減少																					継続	89,002	90,350	維持	6,075	職員	0.60	人	順調	相談員を対象に年間を通じて計画的に行っている初任者研修、主務者研修、弁護士会との合同研修等に加え、子ども・家庭相談コーナーのニーズに応じた研修を新たに行うことにより、相談員の資質の向上を図り、あらゆる相談にきめ細かく対応する。																														
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	実績 23.9%				※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）																																																												
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	51.7% (H25年度)	目標 平成26年度 (30.2%)比 減少		平成27年度 (29.4%) 比減少	平成28年度 比減少	平成25年度 (51.7%)比 減少																															継続	89,002	90,350	維持	6,075	職員	0.60	人	順調	相談員を対象に年間を通じて計画的に行っている初任者研修、主務者研修、弁護士会との合同研修等に加え、子ども・家庭相談コーナーのニーズに応じた研修を新たに行うことにより、相談員の資質の向上を図り、あらゆる相談にきめ細かく対応する。																				
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	実績 29.4%				※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）																																																												
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度)	目標 平成25年度 (30.5%)比 減少				平成20年度 (53.9%)比 減少																																									継続	14,310	13,715	維持	4,150	課長	0.10	人	順調	今後も子育て相談に対応する体制を整え、関係機関との連携もさらに深め、情報収集を行いながら、子育て支援の充実を図る。										
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	実績 25.6%				※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）																																																												
					子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	64.3% (H20年度)	目標 平成25年度 (31.6%)比 減少				平成20年度 (64.3%)比 減少																																																			継続	14,310	13,715	維持	4,150	係長	0.30	人	順調	今後も子育て相談に対応する体制を整え、関係機関との連携もさらに深め、情報収集を行いながら、子育て支援の充実を図る。
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	実績 30.2%				※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）																																																												
子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.7% (H25年度)	目標 平成26年度 (25.6%)比 減少		平成27年度 (23.9%) 比向上	平成28年度 比減少	平成25年度 (44.7%)比 減少	継続	14,310	13,715	維持	4,150		職員	0.00	人	順調	今後も子育て相談に対応する体制を整え、関係機関との連携もさらに深め、情報収集を行いながら、子育て支援の充実を図る。																																																						
※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	実績 23.9%				※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）																																																																	
子育ての悩みや不安を感じる人の割合（小学生の保護者）	51.7% (H25年度)	目標 平成26年度 (30.2%)比 減少		平成27年度 (29.4%) 比向上	平成28年度 比減少	平成25年度 (51.7%)比 減少						継続						14,310	13,715	維持	4,150	職員	0.00	人	順調	今後も子育て相談に対応する体制を整え、関係機関との連携もさらに深め、情報収集を行いながら、子育て支援の充実を図る。																																													
※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	実績 29.4%				※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）																																																																	

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）							
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数						
																							目標	実績	達成率			
I-1-(1)-⑤ 特別な支援を要する子育て家庭への対応	19	母子・父子福祉センター運営事業	子育て支援課	「母子・父子福祉センター」において、ひとり親家庭や寡婦の生活上の悩みや相談を受けたり、仕事のために必要な知識や技能を身につけるための講座等を無料で実施する。その他各種研修会や催し等を行い、ひとり親家庭等の生活の安定、福祉の向上を目指す。	母子・父子福祉センターにおける講座等の受講者延べ人数	目標	6,000 人						継続	41,297	41,297	維持	1,480	課長	0.02 人	ひとり親家庭が自立し、安定した生活を営むことができるよう、ひとり親の支援情報の提供を充実させるなど、総合的な自立支援を行う。 ひとり親家庭が自立し、安定した生活を営むことができるよう、引き続き、講座や就職相談会などの就業支援に取り組むとともに、子どもに合った養育環境の充実に取り組む。 さらに、就職・進学に際し、児童が希望する進路を選択できるよう、自立に向けた支援を行う。 児童虐待の早期発見、早期対応、発生予防に努めるため、育児不安の軽減を図るなど、児童虐待の発生予防に取り組む、虐待に至る前に気になるレベルで適切な支援を行う。 また、児童虐待が深刻化する前に、子どもの安全を守るための一時保護や被虐待児のケア、家族再統合に向けた保護者への支援等を迅速かつ適切に行うことで児童虐待の防止に努める。 子どもの孤食を防止し、幸福感や安心感を与える居場所を提供するため「子ども食堂」をモデル事業として継続実施する。								
						実績	4,947 人																					
						達成率	82.5 %																					
					ひとり親家庭の支援・相談窓口を知らない人の割合（母子・父子福祉センター）	目標	平成25年度(62.1%)比減少										継続	41,297	41,297		維持	1,480	係長	0.05 人				
						実績	62.1% (H25年度)																					
						達成率	108.7 %																					
					ひとり親家庭の就業を支援する施策の利用数（母子・父子福祉センターの延べ利用者数）	目標		平成26年度(10,252人)比増加	平成27年度(10,015人)増加	平成28年度比増加	平成25年度(10,011人)比増加						継続	41,297	41,297		維持	1,480	係長	0.05 人				
						実績	10,011人 (H25年度)		10,015 人																			
						達成率	97.7 %																					
					ひとり親家庭の支援・相談窓口を知らない人の割合（母子・父子福祉センター）	目標	62.1% (H25年度)	平成26年度(58.8%)比減少	平成27年度(39.8%)比減少	平成28年度比減少	平成25年度(62.1%)比減少						継続	41,297	41,297		維持	1,480	職員	0.10 人				
						実績	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）		39.8 %																			
						達成率	146.1 %																					
20	児童養護施設等措置費	子育て支援課	児童養護施設・乳幼児院・情緒障害児短期治療施設・自立支援施設・自立援助ホーム・ファミリーホーム・里親において、保護を要する児童に係る必要な経費を負担し、社会的養護が必要な子どもが、それぞれの子どもにあった生活環境で、健やかに生まれ、自立できる社会環境づくりを推進する。	児童養護施設における生活環境整備等の促進	目標	-							継続	1,954,669	2,336,800	増額	12,825	課長	0.30 人	児童の精神の安定、自立のために、本事業は継続して行う必要がある。社会的養護が必要な子どもを家庭的な環境で育てることができるよう、地域小規模児童養護施設や児童養護施設等の職員給与等の改善を実施する。								
					実績	-																						
					達成率	-																						
				地域小規模児童養護施設・小規模グループケアの実施か所数	目標		平成26年度(13か所)比増加	平成27年度(15か所)比増加	平成28年度(18か所)比増加	23か所 (H31年度)						継続	1,954,669	2,336,800	増額		12,825	係長	0.30 人					
					実績	11か所 (H25年度)		15 か所																				
					達成率	115.4 %																						
				21	親子通園事業	保育課	幼児期の子どもの発達や育児に関して、不安や孤独感を抱えている保護者にとっては、思いを共有し、気兼ねなく安心して親子で過ごせる場所を提供する等、伴走型の支援が必要であり、あそびや体験等を通じて、子育ての楽しさや成長の喜びを保護者が感じられるよう保育所での継続した支援、相談を行う。	保育所に対する満足度（保育の内容）	目標	90.4% (H20年度)	平成25年度(78.5%)比向上				平成20年度(90.4%)比向上		継続	4,363	4,140		減額	4,650	課長	0.10 人	関係機関等を通じ、支援を必要とする親子への情報提供を積極的に行う。 H29年度も引き続き支援体制の強化を図る。			
									実績	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値		79.1 %																
									達成率	100.8 %																		
								保育所に対する満足度（保育の内容）	目標	89.6% (H25年度)	平成26年度(84.4%)比向上	平成27年度(89.3%)比向上	平成28年度比向上	平成25年度(89.6%)比向上							継続	4,363	4,140	減額		4,650	係長	0.20 人
									実績	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値		89.3 %																
									達成率	105.8 %																		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
22	児童虐待防止（子どもの人権擁護）推進事業	子ども総合センター	児童虐待の早期発見及び被虐待児童の迅速かつ適切な保護を行うため、関係機関との連携強化を図り、児童虐待の防止等のために必要な体制を整備するとともに、関係機関等の職員の研修及び広報活動を行う。	児童虐待対応件数	374件 (H20年度)	平成25年度 (380件) 比減少					平成20年度 (374件) 比減少	継続	21,865	22,614	維持	54,000	課長	1.00	順調	児童虐待の早期発見、早期対応、また発生予防に努め、迅速かつ適切に対応することは元より、子どもの心のケアに重点を置いた取組みや児童福祉司等児童虐待担当者の能力向上を図る取組みを実施し、児童虐待対応体制を強化する。			
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	実績	454	件				※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）						達成率	—					%
23	子ども食堂運営事業	子育て支援課	仕事などの都合で保護者の帰宅が遅くなる家庭の児童に対し、学習支援や食事の提供などを行う（「子ども食堂」）をモデル的に実施する。	児童虐待対応件数	380件 (H25年度)	平成26年度 (454件) 比減少	平成27年度 (606件) 比減少	平成28年度 比減少			平成25年度 (380件) 比減少	—	5,000	7,400	増額	11,615	課長	0.01	—	仕事等で保護者の帰宅が遅くなる家庭等の子どもの孤食を防止し、幸福感や安心感を与える居場所を提供するため、「子ども食堂」をモデル事業として継続実施する。また、この取組みを通じ、今後、民間を主体とした「子ども食堂」の活動が本市において広がるよう、活動支援のための補助制度を創設する。			
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	実績	606	件				※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）						達成率	—					%
					51.7% (H25年度)			平成27年度 (29.4%) 比減少	平成28年度 比減少	平成25年度 (51.7%) 比減少							課長	0.01					
					※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値												係長	1.00					
																	職員	0.20					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
I-1- (1)-⑥ 地域など と行政の 連携・協 働による 子育て支 援の推進	24	ほっと子育てふれあい事業	子育て支援課	仕事の都合や子どもの軽い病気の時に、ボランティア組織「ほっと子育てふれあいセンター」の会員間で子どもの預かりや送迎など、子育て支援サービスの充実を図る。	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	-	目標 平成25年度 (57.9%)比 増加	実績 59.9 %	達成率 103.5 %	-	継続	15,028	14,789	維持	1,865	課長 0.01 人	順調	従来の研修に加え、ヒヤリハットのケーススタディや事故が発生した場合の対処法（行政との連携）等の事例研修を充実させ、安全で質の高いサービスの提供に努める。また、市政だよりでの広報のほか、区役所へのポスターの掲示、市の主催（共催）する講演会でのパンフレットの配布等を行い、提供会員数の更なる増加を図る。			
				子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.3% (H25年度)	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	目標 平成26年度 (51.3%)比 増加	実績 49.0 %	達成率 95.5 %	平成27年度 (49.0%)比 増加	平成28年度 比増加	平成25年度 (44.3%)比 増加	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）	係長 0.10 人							
				※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」【H27～31年度】掲載内容											職員 0.10 人						
I-1- (1)-⑥ 地域など と行政の 連携による 子育て支 援の推進	25	みんなの子育て・親育ち支援事業	子育て支援課	乳幼児の親同士が交流を通じて、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援する。また、自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援する。	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	-	目標 平成25年度 (57.9%)比 増加	実績 59.9 %	達成率 103.5 %	-	継続	5,451	5,444	維持	6,400	課長 0.10 人	順調	引き続き、育児サークルや子育て支援者グループなどの「子育てに関わる団体」への活動支援として、活動経費の一部を補助する。また、身近な地域での交流の場（フリースペース）や育児サークルについて調査を行い、その情報を発信し、利用促進を図る。さらに、地域づくりや子育て支援に関して豊富な経験・実績を有する地域支援アドバイザーを各地域に派遣し、活動がより活発化するよう団体間のつなぎ役を担い、子育てネットワークの構築を図る。	市民センターや、子育て支援団体、育児サークル等とのネットワーク化を図るなど、身近な地域における子育てを支えるネットワークづくりを行うことで、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進める。 また、子育て家庭の状況に応じて、必要な人に必要な支援を適切に行うことのできる環境づくりを進める。		
				子育ての悩みや不安を感じる人の割合（就学前児童の保護者）	53.9% (H20年度)	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	目標 平成25年度 (30.5%)比 減少	実績 25.6 %	達成率 -	平成26年度 (51.3%)比 増加	平成27年度 (49.0%)比 増加	平成28年度 比増加	平成20年度 (53.9%)比 減少	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）	係長 0.30 人						
				子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.3% (H25年度)	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	目標 平成26年度 (51.3%)比 増加	実績 49.0 %	達成率 95.5 %	平成27年度 (49.0%)比 増加	平成28年度 比増加	平成25年度 (44.3%)比 増加	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）	職員 0.30 人							
I-1- (1)-⑥ 地域など と行政の 連携による 子育て支 援の推進	26	赤ちゃんの駅登録事業	総務企画課	官民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やオムツ替えができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て中の親が安心して外出できる環境づくりを行う。	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	-	目標 平成25年度 (57.9%)比 増加	実績 59.9 %	達成率 103.5 %	-	継続	1,300	1,300	維持	4,400	課長 0.10 人	大変順調	登録施設数の増加に向けた協力依頼を行うとともに、「赤ちゃんの駅」の認知度向上や利用促進に向けたPR活動を行い、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを進める。			
					子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合（就学前児童の保護者）	44.3% (H25年度)	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」策定時のニーズ調査による数値	目標 平成26年度 (51.3%)比 増加	実績 49.0 %	達成率 95.5 %	平成27年度 (49.0%)比 増加	平成28年度 比増加	平成25年度 (44.3%)比 増加	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）	係長 0.10 人						
					※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」【H27～31年度】掲載内容											職員 0.30 人					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数	
I-1-(2)-① 幼児教育の充実	27	幼児教育の振興・子育て支援機能の充実	幼稚園・子ども園課	本市の幼児教育の振興と子育て支援機能の強化を図るため、私立幼稚園での幼児教育環境の整備（施設の設備や備品・教材等の購入など）や預かり保育、子育て相談、体験保育などの子育て支援機能の充実に対する助成を行う。	預かり保育の実施園	目標	94 園					—	拡大	320,440	349,567	増額	6,190	課長	0.06 人	順調	本市では、平成26年11月に「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」を策定し、事業内容や目標設定の見直し等を行っている。 平成29年度予算では、学校関係者評価推進事業や特別支援教育助成事業の拡充を行うなど、子ども・子育て支援新制度で求められる質の向上に向けた予算の充実を図る。	順調	保育所、幼稚園等と小学校間が連携し、保育所・幼稚園等の保育環境から、小学校の学習環境への円滑な接続を図る。 特別な支援が必要な子どもへの対応など子育て支援機能の充実に取り組む。 公私立幼稚園合同研修等幼児教育の質の向上を図る。
						実績	94 園											職員	0.40 人				
						達成率	100.0 %																
	28	保育所、幼稚園、小学校の連携	幼稚園・子ども園課	保育所、幼稚園の保育環境から小学校の学習環境への円滑な接続を図るため、公私、保幼小の代表者で構成する「保幼小連携推進連絡協議会」を設置し、年2回協議を行う。また、保幼小連携担当者を対象に研修会を実施する。	幼稚園に対する満足度（教育・保育の内容）	目標	91.3% (H25年度)		平成26年度 (74.2%) 比 向上	平成27年度 (89.6%) 比 向上	平成28年度 比向上	平成25年度 (91.3%) 比 向上	継続	673	958	増額	7,825	課長	0.05 人	順調	本市では、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」に基づき、保育所・幼稚園・小学校の連携を組織的・体系的に進めることが必要と考えており、「保幼小連携推進連絡協議会」における外部有識者等の意見も踏まえ、引き続き保幼小連携研修会がより効果的なものとなるよう実施方法等の見直しなどを行う。		
						実績			89.6 %			職員						0.35 人					
						達成率			120.8 %														
28	保育所、幼稚園、小学校の連携	幼稚園・子ども園課	保育所に対する満足度（保育の内容）	目標	89.6% (H25年度)		平成26年度 (84.4%) 比 増加	平成27年度 (89.3%) 比 向上	平成28年度 比向上	平成25年度 (89.6%) 比 向上	職員	0.50 人	105.8 %										
				実績			89.3 %																
				達成率																			

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の 増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数		
I-1- (4)-① 青少年の 健全育 成・非行 を生まな い地域づ くり	29	青少年ボラン ティアステ ーション推 進事業	青少年課	<p>社会の構成員としての規範意識や他者への思いやり等の豊かな人間性を育むとともに、社会性や協調性等を身に付けることができるよう、青少年が行うボランティア活動を支援・促進する。</p> <p>①ボランティア活動の推進：青少年が参加できるボランティアプログラムの開発及び関係機関・団体等への働きかけを行う。</p> <p>②社会参加ボランティアの実施：関係機関と連携しながら、ボランティア活動を通して青少年の社会的自立を支援する。</p> <p>③リーダーの養成や登録：ボランティア活動の知識や実践力を育て、活動を支援できるリーダーの養成及び登録を行う。</p>	<p>青少年ボランティアステーションにおけるボランティア体験活動者数</p> <p>※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容</p>	6,342人 (H25年度)	3,200人	5,279人 (5,279人) 比増加	5,415人 (5,415人) 比増加	平成28年度 比増加	平成25年度 (6,342人) 比増加	継続	1,830	1,861	維持	6,150	課長 0.10人	順調	引き続き、豊富な体験活動プログラムの開発や提供を行いながら、青少年のボランティア体験活動の支援・促進に努める。 また、ボランティア参加の契機となる「ボランティア出前講演」についても積極的にPR・実施していく。					
	30	「ユースステ ーション」運 営費	青少年課	<p>中学生・高校生を中心とした若者の活動拠点となり、社会参加準備のためのさまざまな活動を体験することができる施設として「ユースステーション」の運営を行う。</p>	<p>青少年への社会体験活動等の機会や場の提供</p>	21件 (H25年度)	機会や場の提供の増加	24件	36件	35件	平成27年度 (35件) 比増加	平成28年度 比増加	継続	45,673	45,602	維持	25,875			課長 1.00人	順調	平成28年度から指定管理者制度を導入した。民間事業者独自のノウハウを最大限に活用することにより、利用者サービスの向上を図る。		
	31	子ども・若者 応援センタ ー「YELL」 の運営	青少年課	<p>不安定な雇用やニート（若年無業者）、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている子どもや若者が増加している。</p> <p>そのため、困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート（コーディネート）していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』を設置し、自立を支援する。</p>	<p>社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている若者の割合</p>	3.57% (H25年度)	平成25年度 (5.36%) 比減少	11.47%	—%	—%	—%	—%	継続	23,343	23,630	維持	3,775			課長 0.10人			順調	相談者の状況を見ながら、適切な時期に的確なつなぎを行い、相談者がより一層円滑に支援を受けられるように努める。また、自立度に合わせた体験プログラムの内容の更なる充実について、関係機関と連携して研究する。
	32	「北九州市『青 少年の非行 を生まな い地域づ くり』推 進本部」 運営事業	青少年課	<p>「I 非行防止対策」 「II 非行からの『立ち直り』支援」 「III 薬物乱用の防止と啓発」 「IV 地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。</p>	<p>14歳以上の検挙補導人員に再犯者が占める割合（暦年統計）</p> <p>※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン【H22～26年度】」掲載内容</p> <p>少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計）</p> <p>※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容</p> <p>北九州市協力雇用主見舞金登録者数</p> <p>※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容</p>	38.1% (H25年度)	平成25年 (38.1%) 比減少	38.0%	—%	—%	—%	—%	継続	42,400	38,000	減額	39,950			課長 1.30人				

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H27年度 事業 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策 評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
I-1- (4)-③ 若者の自 立支援	33	若者のための応 援環境づくり推 進事業	青年課	不安定な雇用やニート （若年無業者）、不登 校やひきこもり等、雇 用情勢の悪化や経済的 格差の拡大、家族や周 囲との円滑なコミュニ ケーションの欠如など により、将来を見通せ ない不安の中で、社会 生活を円滑に営む上での 困難を抱えている子 どもや若者が増加して いる。そこで、若者の ための応援環境づくり を推進する。	社会生活を円滑に 営む上での困難を 抱えている若者の 割合	3.57% (H25年度)	目標 平成25年度 (5.36%) 比減少	実績 11.47 %	達成率 — %	—	—	—	—	—	課長 0.10 人	「子ども・若者支援地域協 議会」や「ユースアドバイ ザー養成講習会」につい ては、運営や内容の充実を図 る。また、若者向けホーム ページについては、引き続き 結婚情報や事業、イベントの 紹介を行い、社会情勢を反映 した内容、機能の充実を図 る。	順調				
				子ども・若者応援 センター「YELL」 の相談件数	2,366件 (H25年)	—	平成26年度 (2,663件) 比増加	平成27年度 (2,237件) 比増加	平成28年度 比増加	—	—	—	—	係長 0.10 人							
						2,366件 (H25年)	—	84.0 %	—	—	—	—	—	職員 0.10 人							
	34	子ども・若者応 援センター 「YELL」の運営	青年課	不安定な雇用やニート （若年無業者）、不登 校やひきこもり等、雇 用情勢の悪化や経済的 格差の拡大、家族や周 囲との円滑なコミュニ ケーションの欠如など により、将来を見通せ ない不安の中で、社会 生活を円滑に営む上での 困難を抱えている子 どもや若者が増加して いる。 そのため、困難を抱 える子どもや若者を総 合的にサポート（コー ディネート）してい く総合相談窓口『子 ども・若者応援セン ター「YELL」』を設 置し、自立を支援する。	社会生活を円滑に 営む上での困難を 抱えている若者の 割合	3.57% (H25年度)	目標 平成25年度 (5.36%) 比減少	実績 11.47 %	達成率 — %	—	—	—	—	課長 0.10 人	相談者の状況を見ながら、 適切な時期に的確なつなぎを 行い、相談者がより一層円滑 に支援が受けられるように努 める。また、自立度に合わせ た体験プログラムの内容の更 なる充実について、関係機関 と連携して研究する。	順調	現代の若者の悩みやトラブ ルは複合化・複雑化してお り、不安定な雇用やニート （若年無業者）、ひきこもり などに対応するためには、従 来の個別分野における対応で は限界がある。 若者が自立できるまで、継 続性のある有効な支援を行う ため、相談者の状況を見なが ら、適切な時期に的確なつな ぎを行い、相談者がより一層 円滑に支援が受けられるよ う、教育、福祉、保健・医 療、矯正・更生保護、雇用等 の関連機関・団体が連携し、 若者を総合的にサポートする 環境づくりを行う。 警察や保護司会、協力雇用 主会等、関係機関・団体との 連携を図り、非行相談や、家 庭環境等に問題を抱える青少 年の居場所づくり等、非行少 年の立ち直り支援をより効果 的に推進する。				
			「YELL」来所相談者の就業 等実績（累計数）	222人 (H25年度)	—	平成26年度 (241人) 比増加	平成27年度 (291人) 比増加	平成28年度 比増加	—	—	—	—	係長 0.15 人								
					222人 (H25年度)	—	120.7 %	—	—	—	—	—	職員 0.15 人								
	35	「北九州市『青 少年の非行を生 まない地域づく り』推進本部」 運営事業	青年課	「Ⅰ非行防止対策」 「Ⅱ非行からの『立ち 直り』支援」「Ⅲ薬物 乱用の防止と啓発」 「Ⅳ地域団体・関係機 関との連携強化」の4 つの柱をたて、就労支 援の取り組みを強化す るなど、青少年の非行 防止施策を総合的かつ 積極的に展開する。	14歳以上の検挙補導人員に 再犯者が占める割合（暦年 統計）	38.1% (H25年度)	目標 平成25年 (38.1%) 比減少	実績 38.0 %	達成率 — %	—	—	—	—	課長 1.30 人	【非行防止対策】 非行の入り口となり、様々な 危険を伴う深夜はいかいを防止 するため、民間警備会社に委託 し長期休暇期間中に行う「深夜 声かけパトロール」や、青少年 支援拠点「ドロップインセン ター」の運営に加え、平成28年 度に事業を開始した、小中学生 を中心とした子どもを主な対象 として、市民が一丸となって守 る「子どもの安全を守る『はい かい防止声かけネットワー ク』」を、企業・青少年団体・ 地域などと更に連携を強化し、 推進して行く。 【立ち直り支援】 非行少年の立ち直り支援をよ り効果的に推進するため、協力 雇用主と保護司が連携した取り 組みを行う。	順調					
			少年人口1,000人あたりの 検挙補導人員を表す非行者 率（暦年統計）	11.0人 (H25年)	—	平成25年 (11.0人) 比減少	平成26年 (9.6人) 比減少	平成27年 (7.9人) 比減少	平成28年 比減少	—	—	—	係長 1.00 人								
			北九州市協力雇用主見舞金 登録者数	10人 (H25年)	—	平成26年 度(17人) と同水準	平成27年 度(17人) と同水準	平成28年 度 比同水準	—	—	—	—	職員 2.00 人								

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）					
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数				
II-1-(3)-⑤ 非行や犯罪を生まない地域づくり	36	「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	青少年課	「I 非行防止対策」「II 非行からの『立ち直り』支援」「III 薬物乱用の防止と啓発」「IV 地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	14歳以上の検挙補導人員に再犯者が占める割合（暦年統計） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン【H22～26年度】」掲載内容	38.1% (H25年度)	目標 平成25年 (38.1%)比 減少	実績 38.0 %	達成率 — %	平成27年 (7.9人) 比減少	平成28年比 減少	—	継続	42,400	38,000	減額	39,950	課長	1.30 人	順調	【非行防止対策】 非行の入り口となり、様々な危険を伴う深夜はいかいを防止するため、民間警備会社に委託し長期休暇期間中に行う「深夜声かけパトロール」や、青少年支援拠点「ドロップインセンター」の運営に加え、平成28年度に事業を開始した、小中学生を中心とした子どもを主な対象として、市民が一丸となって守る「子どもの安全を守る『はいかい防止声かけネットワーク』」を、企業・青少年団体・地域などと更に連携を強化し、推進して行く。 【立ち直り支援】 非行少年の立ち直り支援をより効果的に推進するため、協力雇用主と保護司が連携した取り組みを行う。 【薬物乱用防止対策】 危険ドラッグ等の違法薬物乱用を防止するため、各種啓発や関係機関と連携した取り組みを推進していく。	順調	青少年を様々な危険から守るため、「子どもの安全を守る『はいかい防止声かけネットワーク』」など、企業・青少年団体・地域等と連携し、有害環境の浄化とともに、非行防止に取り組む。 また、協力雇用主や保護司と連携し、非行少年の立ち直り支援を進める。 関係機関や、地域団体等との連携を図り、薬物乱用防止教室等を行い、薬物乱用の撲滅機運を高めるための取り組みを推進する。			
						少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	11.0人 (H25年)	目標 平成25年 (11.0人) 比減少	実績 9.6 人	達成率 — %	平成26年 (9.6人)比 減少	平成27年度 (17人)比 同水準												平成28年度 比同水準	7.0人 (H31年度)	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）
						北九州市協力雇用主見舞金登録者数 ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	10人 (H25年)	目標 10 人	実績 17 人	達成率 170.0 %	平成26年 度(17人) 比同水準	平成27年度 (17人)比 同水準												平成28年度 比同水準	平成25年度 (10人) 比増加	※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」での成果指標（目標）

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 (千円)	H29年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
II-3-(1)-④ 子どもの 人権の 尊重	37	児童虐待防止 (子どもの人権 擁護) 推進事業	子ども 総合セ ンター	児童虐待の早期発見及 び被虐待児童の迅速かつ 適切な保護を行うため、 関係機関との連携強化 を図り、児童虐待の防 止等のために必要な 体制を整備するととも に、関係機関等の職 員の研修及び広報活動 を行う。	児童虐待対応件数 ※「現状値」及び 「中間目標」は 「元気発進！子ど もプラン(H22～26 年度)」掲載内容	目標	平成25年度 (380件) 比減少				平成20年度 (374件) 比 減少	継続	21,865	22,614	維持	54,000	課長	1.00 人	順調	児童虐待の早期発見、早期 対応、また発生予防に努め、 迅速かつ適切に対応するこ とは元より、子どもの心のケ アに重点を置いた取組みや児 童福祉司等児童虐待担当者 の能力向上を図る取組みを 実施し、児童虐待対応体制 を強化する。		
						実績	454 件				※上記は、 「元気発進！ 子どもプラン (第2次計画) 」での成果 指標(目標)											
						達成率	— %															
					児童虐待対応件数 ※「現状値」及び 「中間目標」は 「元気発進！子ど もプラン(第2次計 画)【H27～31年 度】」掲載内容	目標	平成26年度 (454件) 比減少	平成27年度 (606件) 比減少	平成28年度 比減少	平成25年度 (380件) 比 減少	継続	4,000	4,737	増額	2,240	課長	0.01 人	順調			虐待防止の拠点病院を指定 し、虐待専門のコーディネ ーターを配置することで、医 療機関相互のネットワーク づくりを推進する。併せて、 医療機関が関わった事例な どをお互いに検討する場を 設け、虐待通告の徹底、診 断や治療のスキルアップを 図る。	
						実績		606 件														※上記は、 「元気発進！ 子どもプラン (第2次計画) 」での成果 指標(目標)
						達成率		— %														
	38	児童虐待防止医 療ネットワーク 事業	子育て支 援課	児童虐待の早期発見、 早期対応につなげるた め、中核的な小児救急 病院等に児童虐待コー ディネーターを配置 し、地域の医療機関か ら児童虐待対応に関す る相談への助言を行う など、医療機関を中心 としたネットワークを 構築し、児童虐待対応 への必要な体制整備 を行う。	児童虐待対応件数 ※「現状値」及び「中間 目標」は「元気発進！子 どもプラン(第2次計画) 【H27～31年度】」掲 載内容	目標	平成25年度 (380件) 比 減少	平成26年度 (454件) 比 減少	平成27年度 (606件) 減少	平成28年度 比減少	平成25年度 (380件) 比 減少	継続	89,002	90,350	維持	6,075	課長		0.05 人	順調		「子ども・家庭相談コー ナー」において、子どもや 家庭に関する様々な相談 に応じることで、育児不安 の軽減を図るとともに、適 切な支援につなぎ、児童 虐待の発生予防に努める。 また、児童虐待が深刻化 する前に、子どもの安全を 守るための一時保護や被 虐待児のケア、家族再統 合に向けた保護者への支 援等を迅速かつ適切に行 うことで、児童虐待の防 止に努める。
						実績	454 件				※上記は、 「元気発進！ 子どもプラン (第2次計画) 」での成果 指標(目標)											
						達成率	— %															
					子育ての悩みや不安を感じ る人の割合（就学前児童 の保護者） ※「現状値」及び「中間 目標」は「元気発進！子 どもプラン(H22～26年 度)」掲載内容	目標	平成25年度 (30.5%) 比 減少				平成20年度 (53.9%) 比 減少	継続	89,002	90,350	維持	6,075	係長	0.10 人	順調		相談員を対象に年間を通じ て計画的に行っている初任 者研修、主務者研修、弁 護士会との合同研修、事 例検討会等に加え、子ど も・家庭相談コーナーの ニーズに応じた研修を新 たに行うことにより、相 談員の資質の向上を図り、 あらゆる相談にきめ細かく 対応する。	
						実績	25.6 %				※上記は、 「元気発進！ 子どもプラン (第2次計画) 」での成果 指標(目標)											
						達成率	— %															
子育ての悩みや不安を感じ る人の割合（小学生の保 護者） ※「現状値」及び「中間 目標」は「元気発進！子 どもプラン(H22～26年 度)」掲載内容	目標	平成25年度 (31.6%) 比 減少				平成20年度 (64.3%) 比 減少	継続	89,002	90,350	維持	6,075	係長	0.10 人	順調	相談員を対象に年間を通じ て計画的に行っている初任 者研修、主務者研修、弁 護士会との合同研修、事 例検討会等に加え、子ど も・家庭相談コーナーの ニーズに応じた研修を新 たに行うことにより、相 談員の資質の向上を図り、 あらゆる相談にきめ細かく 対応する。							
	実績	30.2 %				※上記は、 「元気発進！ 子どもプラン (第2次計画) 」での成果 指標(目標)																
	達成率	— %																				
児童虐待対応件数 ※「現状値」及び「中間 目標」は「元気発進！子 どもプラン(第2次計画) 【H27～31年度】」掲 載内容	目標	平成25年度 (380件) 比減少				平成20年度 (374件) 比 減少	継続	89,002	90,350	維持	6,075	職員	0.60 人			順調	相談員を対象に年間を通じ て計画的に行っている初任 者研修、主務者研修、弁 護士会との合同研修、事 例検討会等に加え、子ど も・家庭相談コーナーの ニーズに応じた研修を新 たに行うことにより、相 談員の資質の向上を図り、 あらゆる相談にきめ細かく 対応する。					
	実績	454 件				※上記は、 「元気発進！ 子どもプラン (第2次計画) 」での成果 指標(目標)																
	達成率	— %																				
児童虐待対応件数 ※「現状値」及び「中間 目標」は「元気発進！子 どもプラン(第2次計画) 【H27～31年度】」掲 載内容	目標	平成26年度 (454件) 比 減少	平成27年度 (606件) 減少	平成28年度 比減少	平成25年度 (380件) 比 減少	継続	89,002	90,350	維持	6,075	職員	0.60 人	順調	相談員を対象に年間を通じ て計画的に行っている初任 者研修、主務者研修、弁 護士会との合同研修、事 例検討会等に加え、子ど も・家庭相談コーナーの ニーズに応じた研修を新 たに行うことにより、相 談員の資質の向上を図り、 あらゆる相談にきめ細かく 対応する。								
	実績		606 件												※上記は、 「元気発進！ 子どもプラン (第2次計画) 」での成果 指標(目標)							
	達成率		— %																			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H28年度 予算額 （千円）	H29年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H27年度 事業評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H27年度 局施策評価	H29年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
IV-3-(2)-② 女性が活躍する産 業都市づくりの推 進	40	特別保育事業補助	保育課	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、保育所の保育時間を午後7時もしくは8時まで延長する「延長保育」の充実を図る。また、保護者のパート就労や育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育する「一時保育」の充実を図る。さらに、保育所の通常保育に加え、延長保育や一時保育においても、集団保育の可能な障害のある児童の受け入れを行う「障害児保育」の充実を図る。	保育所に対する満足度（保育の内容） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（H22～26年度）」掲載内容	90.4% (H20年度)	目標	平成25年度 (78.5%)比 向上				平成20年度 (90.4%)比 向上	継続	730,384	748,531	維持	3,650	課長	0.10	順調	子どもの生活リズムを整えることや、親子で過ごす時間を確保することなど、家庭における子育てと仕事の調和に十分配慮しながら、保護者の多様なニーズに対応した、預かり保育や延長保育などの特別保育について、さらなる充実を図る。	順調	子どもの生活リズムへの十分な配慮や、家庭における子育てと仕事の調和に配慮しながら、幼稚園における預かり保育や保育所における延長保育、休日保育など、多様なニーズに対応した保育サービスのさらなる充実を図る。
						※上記は、「元気発進！子どもプラン」策定時のニーズ調査による数値	実績	79.1%				※上記は、「元気発進！子どもプラン」での成果指標（目標）						達成率	100.8%				
					保育所に対する満足度（教育・保育の内容） ※「現状値」及び「中間目標」は「元気発進！子どもプラン（第2次計画）【H27～31年度】」掲載内容	89.6% (H25年度)	目標	平成26年度 (84.4%)比 向上	平成27年度 (89.3%)比 向上	平成28年度 比向上	平成25年度 (89.6%)比 向上												
					※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）策定時のニーズ調査による数値		実績		89.3%			※上記は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）での成果指標（目標）											
							達成率		105.8%														